

令和4年度 第2回 図書館業務専門講座 開催要項

1 目的

地域資料を後世に残し、誰でもどこでもいつでも閲覧できる手法としてデジタルアーカイブ化が大きく進みつつある。デジタルアーカイブに関する基本的な考え方や方法を知り、さらにオープンデータ化やウィキペディアタウン等のイベント開催による活用を促進するための取組を学ぶ。

2 演題・講師

テーマ：「地域資料のデジタルアーカイブとその活用を考える」

講師：澤谷 晃子 氏（大阪市立中央図書館利用サービス担当課長代理）

【講師プロフィール】

大阪市立中央図書館利用サービス担当課長代理、日本図書館協会認定司書。大学卒業後に司書講習にて資格取得。1996年大阪市に入庁し、地域図書館・自動車文庫を経て、中央図書館にて、調査相談業務、図書館情報ネットワークシステム運用管理、企画・広報・予算管理等に携わる。2021年4月より現職、中央図書館閲覧室運営のまとめ役を担っている。日本図書館研究会編集委員。

システム運用管理部門と図書館サービスの企画部門での経験を活かし、図書館内外とも連携してLoY2017 優秀賞や総務省 ICT 地域活性化大賞優秀賞にもつながるオープンデータ利活用推進に取り組んだ。デジタルアーカイブの利活用、地域との協働・共創、図書館政策等に関心が高い。

3 日時

令和4年10月5日（水）午前 10時30分から午後3時30分まで

4 会場

鳥取県立図書館 2階 大研修室

5 参加対象

県内の公共図書館職員、大学図書館職員、学校図書館関係者、図書館行政担当者
デジタルアーカイブに携わる関係機関職員

6 講座日程

10:00	10:30	12:00	13:00	15:30
受付	講義	昼休憩	講義・質疑・演習	